

# 熊楠ワークス

KUMAGUSU WROKS

## 第7回

# 南方熊楠賞に川添氏

## 「生活学」を体系化 4月19日に授賞式



川添 登氏

川添氏は早稲田大学文学部哲学科、同理工学部建築学科を卒業。建築評論家として活動する一方、在野の研究者として都市民を対象とした新しい民俗学の分野として「生活学」を提唱、体系化しました。

## 特別賞はブラツカーさん

和歌山県田辺市と南方熊楠邸保存顕彰会は、博物学や民俗学の分野で功績があった研究者に贈る「第七回南方熊楠賞」に、郡山女子大学教授の川添登氏(71)「東京都豊島区巢鴨」、同特別賞に元ケンブリッジ大学教授のカーメン・ブラツカーさん(72)「英国ケンブリッジ」を選びました。授賞式は四月十九日、田辺市内のホテルで行います。

南方熊楠賞は、田辺市で半生を過ごした博物学者、南方熊楠(一八六七―一九四一年)の業績をたたえて平成二年十月に創設。本賞のほか、翁の研究に業績のあった研究者に特別賞を授与しています。

大阪万博テーマ館展示サブプロデューサー(一九六九年)、つくば万博政府出展総括プロデューサー(八一年)などを歴任。八七年から福島県の郡山女子大学教授を務めています。ブラツカーさんは、日本の修験道研究の第一人者。英国民俗学会長の就任講演(八二年)で南方熊楠の研究を紹介するなど、南方学の研究と海外での紹介に大きく貢献しました。



カーメン・ブラツカーさん

ブラツカーさん 十五年くらい前から南方の民俗学についての驚くべき博学、また、一風変わった天才に非常に興味を持ちました。が、決して賞をいただくべきものとは思いませんでした。この上もない光栄に存じながら、深く心からお礼申し上げます。

川添氏 大変光栄に思いながら、多少のとまどいを感じています。熊楠がそうであったように私も、常に野にあつて人間の学であることを志してきましたし、熊楠から何を学ぶべきかも知っているつもりではいたものの、本格的な熊楠研究をしてきたとはいえないからです。この賞をいただくことは、それを真剣にしないことだと考えさせられております。

## ◆受賞の言葉

田辺市と南方熊楠邸保存顕彰会は四月十九日に同市文里(もり)のガーデンホテルハナヨで開く第七回南方熊楠賞の授賞式・記念講演と記念パーティーの参加者を募集しています。授賞式・記念講演は午後一時半からの開催で定員三百人、参加無料。記念パーティーは同百人で参加費五千円となっています。南方賞を受賞の川添登氏は「日本民間学と南方熊楠」、同特別賞のカーメン・ブラツカーさんは「イギリス人の目で見えた南方熊楠」を演題に講演します。申し込み、問い合わせは郵便番号646 田辺市新屋敷町一番地、田辺市教育委員会総務部文化振興課内「南方熊楠邸保存顕彰会事務局」(電話0739・26・9943番)まで。締め切りは四月十四日。

田辺市と南方熊楠邸保存顕彰会は四月十九日に同市文里(もり)のガーデンホテルハナヨで開く第七回南方熊楠賞の授賞式・記念講演と記念パーティーの参加者を募集しています。授賞式・記念講演は午後一時半からの開催で定員三百人、参加無料。記念パーティーは同百人で参加費五千円となっています。南方賞を受賞の川添登氏は「日本民間学と南方熊楠」、同特別賞のカーメン・ブラツカーさんは「イギリス人の目で見えた南方熊楠」を演題に講演します。申し込み、問い合わせは郵便番号646 田辺市新屋敷町一番地、田辺市教育委員会総務部文化振興課内「南方熊楠邸保存顕彰会事務局」(電話0739・26・9943番)まで。締め切りは四月十四日。

## 受賞記念講演

### 聴講者を募集

発行所  
南方熊楠邸保存顕彰会  
和歌山県田辺市新屋敷町1  
田辺市教育委員会文化振興課内  
TEL0739(22)5300(代表)

## CONTENTS

- 2面 熊楠の植物標本調査
- 3面 神島を探る③ 後藤 伸氏
- 4面 南方熊楠異聞 宮本正章氏
- 5面 熊楠関係図書一覧

- 8面 南方ゆかりの地② 中瀬喜陽氏
- 9面 普段着の南方熊楠③
- 10面 顕彰会活動報告